

質疑並びに一般質問

6日間にわたり、次の23人の議員が質問しました。
ここでは、その一部をお知らせします。
この記事は各議員が作成しています。

柏清風

小島晃治

●放射能汚染による農作物への影響について

問 放射能汚染は、私たちの生活に影響を及ぼし、市内農業においても深刻な問題である。市では市内産農産物への検査を300検体以上行っているが、この検査を通じてどのようなことがわかったのか。

答 市では市内産の農作物の放射線に関する簡易検査を7月末から11月末までに82品目324検体について実施した。野菜からは一切検出されていないとの検査結果である。ブルーベリー、カボス、クリ、キウイ、カキといった果実類に限って放射性物質が検出されているが、いずれも暫定規制値以下であった。



避難場所の表示

問 深夜、休館日においても避難場所の表示はありますか。

答 深夜、休館日においても避難場所の表示はあります。また、避難場所の確保や、避難時の対応などについて、関係機関と連携を図るなど、地域防災拠点となる。休日や夜間に災害が発生した場合、市職員が参集できない場合に備えて避難所開設の鍵をふるさと協議会の防災担当者などへ預けるべきです。

いるふるさと協議会の役割がますます重要となってきた。今後のふるさと協議会のあり方についてどのように考えているのか。

答 今年度より、各ふるさと協議会と協働で、地域の諸問題を解決していく地域づくり推進事業に着手している。地域の課題を解決するため、市職員による支援体制の強化を行うと同時に非常勤特別職として地域づくりコーディネーターを配置し、各ふるさと協議会とともに地域課題について現在協議を重ねている。

●地区災害対策本部の立ち上げについて

問 本市の災害時の応急活動体制の特徴として、震度5強以上のときに市職員が参集し、20のコミュニティエリアごとに近隣センターや沼南支所に設置される地区災害対策本部があり、これは情報収集、伝達基地及び避難所機能のほか、ふるさと協議会との地域組織と連携を図るなどの地域防災拠点となる。休日や夜間に災害が発生した場合、市職員が参集できない場合に備えて避難所開設の鍵をふるさと協議会の防災担当者などへ預けるべきです。

区災害対策本部周辺に居住する複数の管理人が参集する体制を整えている。ふるさと協議会との連携による避難所の開設等は今後も検討していく。

円谷憲人

●柏の葉キャンパス駅前交番の早期設置に向けて

問 柏の葉地区は、新設小学校の開校も迫り、また開発途上で子供を持つ家庭も含め、人口がふえると予想される地域である。一日も早い交番開設を遂行するが、今後の計画は。

答 県及び県警本部によると、来秋の開設を目標に来年度早々に事務手続に入るとのことである。市としてもその実現に向けて関係機関に強く働きかけていく。

●近隣自治体と防災協定をもちと具体的に

問 現在も災害時の相互協定を結んでいるが、より具体的にしながらはならない。例えば他市の避難所に避難した障害のある方や足腰の弱い方などへの対応は決まっているか。

答 具体的な取り決めはしていない。今後、この点も踏まえて協定の見直しを働きかけていきたい。

●ACL(※1)に向け、柏レイソルにできる限りの支援を

問 柏レイソルは今季、素晴らしい戦いぶりであり、素晴らしてくれた。ACL(アジアチャンピオンズリーグ)にも出場するが、どんな支援を考えているか。

答 対戦相手の練習場所の確保やサポーターの会場までの案内等、円滑な運営を支援していきたい。



柏レイソル J1リーグ優勝

を冠するチームが出場するのは、市にとってもチャンスと思うが。

答 本市を国内外に知っていただく絶好の機会ととらえ、柏の名を世界に発信できる施策を検討していく。

●J1優勝という快挙に対し、顕彰などを考えているか。

答 まだ具体的ではないが、検討していくことになると思う。

●財源確保へ広報事業に副次的役割を

問 市民への情報伝達・周知が守られるなら、広告事業の拡充など広報物を財源確保に利用することも必要と思うが。

答 適切かつ素早い情報伝達を阻害しないのであれば、副次的な利用も可能だと考えている。市の財源確保の観点から、積極的に進めていきたい。

村田章吾

●行財政改革について

問 22年度の監査の報告書には、「国家公務員を上回る水準の地域手当は見直すべき」との指摘がある。来年度以降、市では各種公共料金が値上げされる可能性があるが、どう考えているか。

答 対戦相手の練習場所の確保やサポーターの会場までの案内等、円滑な運営を支援していきたい。



市立図書館本館

きと考えるかどうか。

答 職員の地域手当については、26年度までに国と同じ水準に引き下げたいと考えている。引き下げに向けて準備を進めていく。

●水道部が、配水施設を建設するために4億円を投じて購入した土地が9年間にわたり、活用されずに維持されていると聞いている。多額の予算を投じて購入した土地が放置されている状況は望ましくないと考える。収益事業に活用するか、地域住民の利用に供することが望ましいと考えるがどうか。

答 購入した大山台二丁目の未利用地は、施設の建設までの間、駐車場等の収益事業での活用を図っていく。

●図書館行政について

問 現在の図書館本館では、雨漏りにより書籍が破損するケースもあると聞いている。新中央図書館の建設計画が白紙となり、今後も長く現在の施設を利用する可能性が高い。大規模な改築は困難であろうが、雨漏りを防ぐといった最低限の修繕は早急に進めるべきと考えるがどうか。

答 現在、修繕を進めている。今後は、館内の改装等についても検討していきたい。

●児童虐待防止について

問 市の担当職員の技能向上、県との連携強化に向け、県の児童相談所との人事交流を強化すべきではないか。

答 今後、検討していく。

●放射線対策について

問 情報の発信方法に問題がある。これまでの対策を体系的に時系列順にまとめ、今後の方針を明確にすることが大切。これは、市民の安心につながり、東電や国へ汚染者責任を求め大きな証拠となる。また、ストロムチウム等の測定は行うのか。

答 情報発信は、多くの媒体を活用し強化していく。情報の整理は、多種多様な対策を時系列にし、工程表を整理していく。ストロムチウムの測定は、12月から市内3カ所で行う。

●高齢者福祉施策について

問 計画的で無駄のない施策を行うため、特別養護老人ホームの待機者数を正確に把握すべきである。第5期介護保険計画ではどのような独自施策を行うのか。また、社会福祉法人等への指導は工夫が必要ではないか。

答 待機者の現状分析は詳細に行っていく。第5期計画での独自施策は、運営方法で発揮できる。多種多様なサービスを切れ

目なく提供することで施設並みの安心感を得たい。事業者に対しては、新たに集団指導を行う。

●柏中学校体育館の建てかえ整備時期、規模や整備内容

問 整備時期、規模や整備内容

答 来年度から設計に着手する。バスケットコート1面の面積に付属設備と防災的機能を備え、防災備蓄倉庫、多目的室、トイレ、飲料水、非常用電源、暖房用の熱源等を整備する。



柏中学校の体育館

●労政事業について

問 22年度の反省点と24年度の具体策は。

答 企業合同就職面接会やホームヘルパー養成事業等近隣市にはない特徴的な事業を行ったが、就職の実績は少なかつた。来年度は、企業側と求職側のニーズのマッチングが難しいので、この点に工夫を加えたい。

●水道事業財政について

問 借入金の利払いが極めて多い。内部留保金の多くを有価証券へ運用しているが、運用益は極めて少ない。有価証券の運用を抑え、高利の借入金を繰り上げ償還すべきと思うが。

※1 ACL=アジアサッカー連盟が主催するクラブチームによるサッカーの大陸選手権大会。